

教育委員会だより - 学(まなぶ) -

(3月1日号)

地域の文化拠点『知立市文化会館』 ▶文化課 文化振興係 (電話 83-1133)

○知立市文化会館が地域創造大賞を受賞

開館 20 周年を迎えた知立市文化会館 (パティオ池鯉鮒) が令和 2 年度の地域創造大賞 (総務大臣賞) を受賞しました。この賞は、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く紹介することにより、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として創設されたものです。同会館では、江戸時代から伝わる「知立の山車文楽とからくり」の保存・継承の拠点として、保存会の稽古場の提供はもとより、道具の保管、大阪文楽座の人形遣いによる指導、ホール公演、創作舞台などを展開してきました。また、市内全小学校への音楽アウトリーチに力を入れるなど、地域の文化拠点として尽力してきたことが評価されました。

○地域の文化力を結集した記念公演「おさき玉城 (たまぐすく) 恋の八橋」

市制 50 周年・開館 20 周年記念事業として昨年 8 月に上演された「立体パノラマ絵草紙『おさき玉城恋の八橋』」は、琉球王朝の楽器「長線 (ちゃんせん)」というこの地に実在する文化財を題材に、朗読劇と文楽を組み合わせた舞台作品で、地域の文化力を結集した記念事業となりました。コロナ禍にあって上演が危ぶまれましたが、当初会場として予定していた小ホールを大ホールへ変更するなど、感染防止対策を徹底し、関係者の努力のもと無事に上演することができました。

コロナ禍の現在、文化芸術活動は自粛を余儀なくされている現状があります。文化や芸術が豊かな生活にとってかけがえのないものであると多くの人々が実感しているのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染症の収束を願いつつ、「新しい生活様式」を踏まえながら、幅広い年齢層の人々に親しまれる文化会館の今後の活動にご期待ください。